

周南ロボコン 2022

ルールブック

1. 参加資格

小学生以上からとします。また、一般(保護者)の方も参加可能です。

チームの人数は2名以上とし、上限は設けません。ただし、試合中にロボットを操作できるのはメンバーのうち2名のみで、他のメンバーはロボットの準備や操縦の指示等を行うことができます。試合途中での交代は自由にしても構いませんが、コードなども含めて操縦者以外の方がロボットに触れることを禁止します。

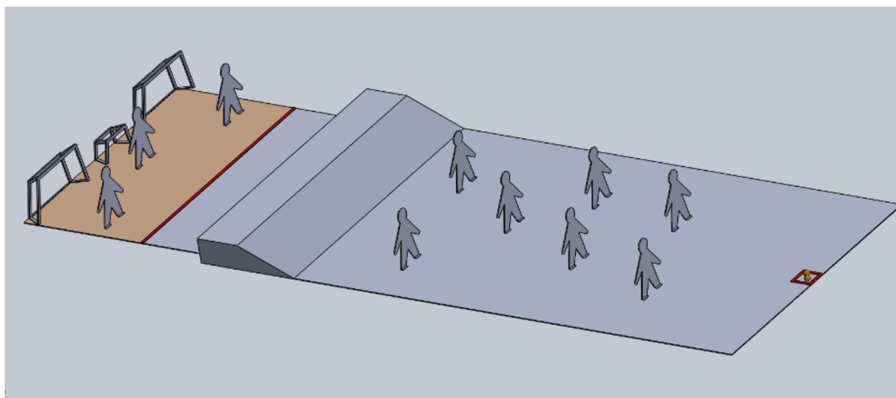
例) 小学生5人、中学生2人+高校生1人、小学生+保護者(親子も可)

2. 競技概要

今年の競技テーマは、「サッカー」です。11月20日から始まるワールドカップ2022にちなみ、このテーマにしました。

内容はシンプルに、ゴールして獲得した得点で競い合います。

今年の競技で使用する競技フィールドには、「ドリブルエリア」、「シュートエリア」の2つのエリアがあります。2台のロボットは、このエリア内をそれぞれ担当するためコンビネーションが重要になります。さらに、ドリブルロボットは競技エリア内にあるボールを捕まえて、素早く運ぶ必要があります、シュートロボットはシュートの正確性が求められます。



(競技フィールド)

※競技フィールドの詳しい寸法は別に記載します。

3.競技ロボットに関する規定

(1)ロボットは展開してもかまいませんが、競技開始時のサイズは一辺が 250mm の立方体に収まるサイズとします。(エントリー受付の際、採寸を行う) なお、このときリモコンとケーブルは除くものとします。

(2)すべてのロボットを動かすために使ってよい動力源は次のものとします。

- ・ロボット 1 台につきモーター4 個以内
- ・ばね、ゴム、永久磁石(競技開始前にあらかじめばねを伸ばしたり、ゴムを縮めたり、ねじったりしておいてもかまわない)

※火薬、燃料の使用などの危険なものは禁止します。

(3)すべてのロボットを動かすために使ってよい電池の数および種類は問いません。

4.ルール

- ・ 1 試合の競技時間は予選 3 分、決勝 5 分で行います。
- ・ 競技開始前に準備時間を 1 分設けます。
- ・ 競技でボールとして扱われるピンポン玉は径が 40mm のものを用います。
- ・ 各ロボットのスタート地点は指定された場所に従ってください。(寸法の pdf に記載)
- ・ ロボットは競技エリアの外に出ることができません。
- ・ 操縦者はリモコン以外を持つことができません。
- ・ 「リトライ」は競技中に行うことができます。
- ※「リトライ」… ロボットをスタート位置に戻すこと。また、ロボットの手直しもすることができます。ただし、リトライの間も競技時間はストップしない。
- ・ 大ゴールは 1 点、小ゴールは 2 点獲得することができます。
- ・ ボールエリアのボールは常に 2 つおいてあるように運営側が用意します。
- ・ ドリブルエリアに関して、障害物を倒してしまったら 1 つにつき 1 点減点。当たったとしても倒れていなければ減点はなし。
- ・ シュートエリアに関して、ボールが障害物を倒してしまった場合の減点はなし。
- ・ 倒された障害物はその競技中はそのままとなります。
- ・ シュートロボットを経由していないボールの得点は無効になります。
- ・ シュートロボットが赤いラインを越えてシュートしたものについては得点を無効とします。

5.その他

(1)参加者、審判や観客にとって迷惑・危険な行為、競技の進行を妨げる行為をしてはいけません。

(2)大会中、大会の運営や審判の判定、その他わからないことについては、近くの審判やスタッフにお尋ねください。

(3)競技の技術的な問題などについての質問・照会は下記実行委員会宛にお送りください。

周南ロボコン実行委員会 事務局(学生課)

徳山工業高等専門学校 機械電気工学科3年 三奈木蒼真

e-mail : gakuseik@tokuyama.ac.jp